

令和5年度東京都MICE連携推進協議会（第1回）開催概要

日 時 令和5年7月26日 15時00分から17時00分

場 所 ビジョンセンター西新宿707及びオンラインによるハイブリッド開催

出席者 令和5年度東京都MICE連携推進協議会 委員16名

協議内容

- ・観光庁からの説明
- ・議事
 - (1) 公開シンポジウムについて
 - (2) 東京への国際的なMICE誘致加速化に向けて

開催概要

本協議会では、観光庁より観光庁の令和5年度の予算・施策・概況及び『新時代のインバウンド拡大アクションプラン』についてご説明いただいた。議事は、今年度実施する公開シンポジウム及び国際的なMICE誘致の加速化の2点を挙げ、活発な議論を行ったほか、各委員よりそれぞれの事業分野における今年度の課題と取組についてご報告いただいた。

委員からの主な意見（要旨）

- 公開シンポジウムについては、障がいのある方等のイベント参加を検討する「D&I」という有益なテーマが設定されているほか、国際会議での利用が可能なユニークベニューである東京国立博物館を会場に選定していることも評価できる。
- 第三者による国際認証等、事業者に対してサステナビリティへの取組が求められるケースが増えており、ニーズに適った環境の構築が課題。
- 日本のSDGsへの取組が不透明との海外評価も多いため、事業者や行政、各都市によるサステナビリティへの取組を海外へ広く発信していくことが不可欠。
- MICE開催の経済効果への期待は高まっているが、開催周辺地域や企業による誘致・開催への協力を得るためには、MICE開催の重要性についての啓発が必要。
- 国際見本市への共同出展等、共同で実施する海外での誘致活動時、官民が協力して「オール東京」としての明確なゴールを設定して活動することで様々なニーズに対応でき、競合に対する優位性が高まる。
- 大学と産業界の連携によるMICE業界への人材供給のチャネルづくりが必要。

以上